

市の将来都市像
人と地域が主体のまち
人が集まり、豊かに
すごせる魅力あるまち
活躍する人が育つまち

町田市民文学館

ことばらんど オープンしました

☎739・3420



遠藤周作氏の軽井沢の別荘から移設されたブロンズ像(二田原英二氏作)



文学の魅力や「ことばの力」に出会う場、文学活動を通じた市民の新たな交流拠点として「町田市民文学館ことばらんど」が10月27日、オープンしました。初日の開館式典には石阪市長ら関係者とともに、文学館開設準備懇談会会長で作家の森村誠一氏、故・遠藤周作氏の夫人・順子さんや故・八木義徳氏の夫人・正子さんらも出席、テープカット(写真下)の後、お祝いの言葉を述べられました。



同館は、1997年、遠藤周作氏のご遺族から資料が寄贈されたことがきっかけで誕生。開館に向け、検討を重ねられる中で、町田ゆかりの小説家である八木義徳氏や桜田常久氏の旧蔵資料など数々の資料を寄贈いただきました。他にも作家・宮川哲夫氏の自筆歌詞草稿など貴重な文芸関係資料約5万8000点が収蔵されています。同館はこれら文化遺産としての文学資料を収集・保存していくことを目的の一つとしています。それが、それらに加えて、「文学」をキーワードに人が出会い、交流し、新しい市民文化を発信する拠点となることを目指しています。資料展示に重点を置く従来の文学館機能にとどまらず、市民が自ら研究に取り組み市民研究員制度など、市民が積極的に参加できる、新たな市民活動の場となることを期待されます。

館内フロアのご案内

文学館の建物は鉄筋コンクリート造、地上3階地下2階、延べ床面積2153・59㎡の広さで、外観は瀟洒な赤レンガづくり。正面入口脇には、故・遠藤周作氏の軽井沢の別荘から移設されたブロンズ像がたたずんでいます。旧町田市民公民館を増築した施設内は、各フロアごとに特徴ある機能を持たせた構成になっています。

1階 図書館機能

1階は、町田ゆかりの文学者の著作や研究書、市民著作、その他雑誌、全集類、児童書などが収蔵され、資料閲覧室を備えた図書館機能を有しています。ここでは市立図書館の利用券を使って、資料を借りることができます(貴重資料を除く)。また、カフェを併設した文学サロンでは、コーヒーを飲みながらゆったりと「町田の文学」に触れることができますようになっています。



文学ブックカフェでゆったりと

2階 展示機能



展示室

2階には、企画展用の展示スペースがあり、町田ゆかりの文学者を取り上げる展覧会や、子ども達も楽しめる企画展を開催します。現在は開館記念展として「ことばの森の住人たち 町田ゆかりの文学者」展を開催中(2007年3月4日まで)で、町田ゆかりの主要な文人23人を貴重な資料とともに紹介しています。また、展示スペースの他に大会議室もあり、各種講座・講演会や文学散歩など市民の皆さんが知識や関心を深め、参加できるイベントを企画しています。

3階 施設貸出機能

3階には、団体・サークル等の文学活動に利用できる会議室が6室と保育室があります。文学に関する研究・創作・読書会・朗読等の活動にご活用下さい。詳細は同館までお問い合わせ下さい。



3階の会議室



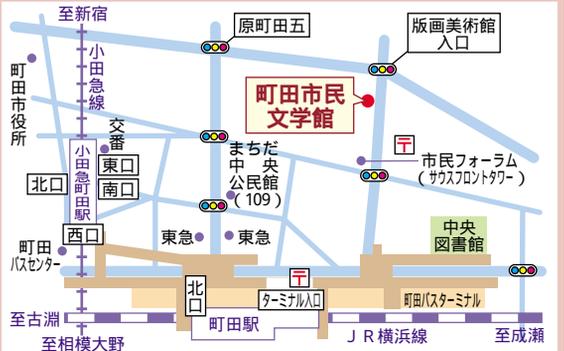
故・遠藤周作氏が「深い河」などの執筆に使った机

開館記念展関連講座 町田ゆかりの文学に親しむ(3回シリーズ)

回数	テーマ	日 時	講師
第1回	八木義徳をめぐって「文学の鬼を志望す」	12月17日(日) 午後2時~4時	文芸編集者 根本昌夫氏
第2回	石川桂郎をめぐって「町田能ヶ谷の俳人・石川桂郎」	2007年 1月27日(土) 午後2時~4時	俳人・エッセイスト 稲垣麦男氏
第3回	日影文吉をめぐって「極上のエンターテインメント・日影文吉 人と作品」	2007年 2月18日(日) 午後2時~3時	作家・歌人 須永朝彦氏

会場 町田市民文学館2階大会議室
定員 各50人(申し込み順)
申し込み 電話で町田市民文学館(☎739・3420)へ。

利用案内
開館時間 午前9時~午後10時
[展示室/資料閲覧室の利用]
午前10時~午後5時
展示室の入室は午後4時30分まで
[資料の閲覧および貸出業務]
午前10時~午後5時
[会議室等の貸出/文学サロンの利用]
午前9時~午後10時
休館日 毎週月曜日(祝休日の場合は開館)
毎月第2木曜日(祝日の場合は翌日)
12月29日~1月4日/特別整理日等



住所 原町田4-16-17
交通 JR横浜線「町田駅」
町田ターミナル口から徒歩8分
/小田急線「町田駅」東口から徒歩12分
身体障がい者用駐車スペースあり(2台分)